

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 24 日

岩手県知事 達増 拓也 様

提出者

住 所 岩手県八幡平市松尾第4地割115番地

氏 名 積水メディカル(株) 岩手工場
工場長 滝本 幸也

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0195-74-3161 (代表)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	積水メディカル株式会社 岩手工場
事業場の所在地	岩手県八幡平市松尾第4地割115番地
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	化学工業
② 事業の規模	製造製品出荷額 121億円
③ 従業員数	210名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙4のとおり



（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	1558.521 t	t
	（これまでに実施した取組） 既に認証しているISO-14001に則り、今年度の廃棄物抑制に関し環境目的で定めた下記の事項を展開する 廃棄物3R率を向上させゼロミッションを継続推進する「前年度の廃棄物原単位を1%削減する」		
②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	1644.2 t	t
	（今後実施する予定の取組） 既に認証しているISO-14001に則り、今年度の廃棄物抑制に関し環境目的で定めた下記の事項を展開する 廃棄物3R率を向上させゼロミッションを継続推進する「前年度の廃棄物原単位を1%削減する」		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 当事業所から発生する廃棄物は、種類ごとに各置き場（脱水汚泥、廃カーボン、鉄屑、ガラス屑、廃プラスチック、事業系一般廃棄物等）を設け分別している。また、ガラス屑は蛍光管類、着色ガラス、無色ガラス、その他に分別し、更に、事業系一般廃棄物はダンボール、新聞紙、事業系用紙等と分別している。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） -		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） -		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) -		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) -		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	1558.521 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	946.642 t	t
	再生利用業者への処理委託量	1558.521 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1476.454 t	t
	(これまでに実施した取組) 当事業所では、収集運搬、処分に関しそれぞれの処理業者から許可証を徴収し精査確認後、委託契約を締結している。また、廃棄物が適法処理されていることの事実確認として以下を実施している。 ・ マニフェスト管理（平成23年10月から電子マニフェスト導入） ・ 委託処分場の視察 ・ 収集運搬、処分業許可証の定期的な確認 ・ ISO-4001の要求事項に則り内部環境監査の実施		

(第5面)

②計画	【目標】 別紙3のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全 処 理 委 託 量	1644.2 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	924 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1644.2 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	1624 t	t
	(今後実施する予定の取組) 現状を維持・継続する さらに産業廃棄物の有価物化を検討する		
※事務処理欄			

(産業廃棄物の種類:

汚泥

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
662.34
700.00
t

数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	662.34 700.00 t
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00 t
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 0.00 t
⑩全処理委託量	662.34 700.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	71.77 0.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	662.34 700.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	601.62 700.00 t

自ら直接 再生利用する量
②
0.00
0.00
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0.00
0.00
t

自ら中間処理 する量
④
0.00
0.00
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0.00
0.00
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
0.00
0.00
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
0.00
0.00
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
662.34
700.00
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
71.77
0.00
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
662.34
700.00
t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0.00
0.00
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
601.62
700.00
t

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量	

不要物等発生量	

排出量	
①	341.41 t 350.00 t

数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	341.41 t 350.00 t	
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 t 0.00 t	
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t 0.00 t	
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t 0.00 t	
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t 0.00 t	
⑩全処理委託量	341.41 t 350.00 t	
⑪優良認定処理業者への処理委託	341.41 t 350.00 t	
⑫再生利用業者への処理委託量	341.41 t 350.00 t	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t 0.00 t	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	341.41 t 350.00 t	

自ら直接再生利用する量	
②	0.00 t 0.00 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	
③	0.00 t 0.00 t

自ら中間処理する量	
④	0.00 t 0.00 t

④のうち熱回収を行う量	
⑤	0.00 t 0.00 t

自ら中間処理した後の残さ	
⑥	0.00 t 0.00 t

自ら中間処理により減量した量	
⑦	0.00 t 0.00 t

自ら中間処理した後再生利用する量	
⑧	0.00 t 0.00 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	
⑨	0.00 t 0.00 t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量	
⑩	341.41 t 350.00 t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	
⑪	341.41 t 350.00 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	
⑫	341.41 t 350.00 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	
⑬	0.00 t 0.00 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	
⑭	341.41 t 350.00 t

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量	

不要物等発生量	

排出量	
①	30.16 40.00 t

数値は、
上段：前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量	
②	0.00 0.00 t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	0.00 0.00 t

項目	前年度実績 今年度目標値
①排出量	t
②+③自ら再生利用を行った量	t
⑤自ら熱回収を行った量	t
⑦自ら中間処理により減量した量	t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	t
⑩全処理委託量	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	t
⑫再生利用業者への処理委託量	t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

自ら中間処理 する量	
④	0.00 0.00 t

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	0.00 0.00 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨	0.00 0.00 t

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	0.00 0.00 t

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦	0.00 0.00 t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	30.16 40.00 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	29.73 40.00 t

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	0.00 0.00 t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	30.16 40.00 t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	0.00 0.00 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭	29.73 40.00 t

(産業廃棄物の種類:

金属くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
25.46
25.00
t

数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	25.46 25.00 t
②・③自ら再生利用を行った量	0.00 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00 t
③・④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 0.00 t
⑩全処理委託量	25.46 25.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	4.58 5.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	25.46 25.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	4.58 5.00 t

自ら直接再生利用する量
②
0.00
0.00
t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量
③
0.00
0.00
t

自ら中間処理する量
④
0.00
0.00
t

④のうち熱回収を行う量
⑤
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後の残さ
⑥
0.00
0.00
t

自ら中間処理により減量した量
⑦
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後再生利用する量
⑧
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分する量
⑨
0.00
0.00
t

直接及び自ら中間処理した後の委託処理量
⑩
25.46
25.00
t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量
⑪
4.58
5.00
t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量
⑫
25.46
25.00
t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑬
0.00
0.00
t

⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への熱回収を行う業者への処理委託量
⑭
4.58
5.00
t

(産業廃棄物の種類: ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
2.996
3.20
t

数値は、
上段: 前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量
②
0.00
0.00
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0.00
0.00
t

項目	前年度実績値	今年度目標値
①排出量	2.996	3.20
②+③自ら再生利用を行った量	0.00	0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00	0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00	0.00
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00	0.00
⑩全処理委託量	2.996	3.20
⑪優良認定処理業者への処理委託	2.996	3.00
⑫再生利用業者への処理委託量	2.996	3.20
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00	0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	2.99	3.00

自ら中間処理 する量
④
0.00
0.00
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
0.00
0.00
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0.00
0.00
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0.00
0.00
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
2.996
3.20
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
2.996
3.00
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
2.996
3.20
t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0.00
0.00
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
2.99
3.00
t

(産業廃棄物の種類:

廃酸)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
471.79 t
500.00 t

数値は、
上段：前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量
②
0.00 t
0.00 t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0.00 t
0.00 t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	471.79 t 500.00 t
②・③自ら再生利用を行った量	0.00 t 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 t 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 t 0.00 t
③・④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 t 0.00 t
⑩全処理委託量	471.79 t 500.00 t
⑪優良認定処理業者への処理委託	471.79 t 500.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	471.79 t 500.00 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 t 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	471.79 t 500.00 t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0.00 t
0.00 t

自ら中間処理した後 の残さ
⑥
0.00 t
0.00 t

自ら中間処理 する量
④
0.00 t
0.00 t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
0.00 t
0.00 t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0.00 t
0.00 t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0.00 t
0.00 t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
471.79 t
500.00 t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
471.79 t
500.00 t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
471.79 t
500.00 t

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0.00 t
0.00 t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
471.79 t
500.00 t

(産業廃棄物の種類

廃油

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量	
①	t
6.58	6.00

不変物等発生量	
②	t
0.00	0.00

自ら直接 再生利用する量	
②	t
0.00	0.00

自ら中間処理した後 再生利用する量	
③	t
0.00	0.00

排出量	
①	t
6.58	6.00

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	t
0.00	0.00

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑤	t
0.00	0.00

数値は、
上段：前年度実績
値

項目	前年度実績 今年度目標値
①排出量	6.58 6.00
②③④自ら再生利用を行った量	0.00 0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00
③④⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 0.00
⑩全処理委託量	6.58 6.00
⑪優良認定処理業者への処理委託量	6.58 6.00
⑫再生利用業者への処理委託量	6.58 6.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	6.54 6.00

自ら中間処理 する量	
④	t
0.00	0.00

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	t
0.00	0.00

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑤	t
0.00	0.00

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	t
0.00	0.00

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦	t
0.00	0.00

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	t
6.58	6.00

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	t
6.58	6.00

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	t
6.58	6.00

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	t
0.00	0.00

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭	t
6.54	6.00

(産業廃棄物の種類:

木くず

)

排出した産業廃棄物の種類別のシートを作成してください。
2種類以上となる場合は、シートをコピーしてお使いください

有償物量	
①	t
17.79	20.00

不要物等発生量

排出量	
①	t
17.79	20.00

数値は、
上段 前年度実績
値

自ら直接 再生利用する量	
②	t
0.00	0.00

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量	
③	t
0.00	0.00

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	17.79 20.00
②+③自ら再生利用を行った量	0.00 0.00
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00
③+④自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 0.00
⑩全処理委託量	17.79 20.00
⑪優良認定処理業者への処理委託	17.79 20.00
⑫再生利用業者への処理委託量	17.79 20.00
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	17.79 20.00

自ら中間処理 する量	
④	t
0.00	0.00

④のうち熱回収 を行う量	
⑤	t
0.00	0.00

自ら中間処理した 後の残さ	
⑥	t
0.00	0.00

自ら中間処理によ り減量した量	
⑦	t
0.00	0.00

自ら中間処理した後 再生利用する量	
⑧	t
0.00	0.00

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量	
⑨	t
0.00	0.00

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量	
⑩	t
17.79	20.00

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	
⑪	t
17.79	20.00

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	
⑫	t
17.79	20.00

⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	
⑬	t
0.00	0.00

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	
⑭	t
17.79	20.00

(産業廃棄物の種類: 全体)

排出した産業廃棄物の合計量を記載してください。

有償物量

不要物等発生量

排出量
①
1,558.52
1,644.20
t

数値は、
上段: 前年度実績値
下段: 今年度目標値

自ら直接 再生利用する量
②
0.00
0.00
t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分する量
③
0.00
0.00
t

項目	前年度実績値 今年度目標値
①排出量	1,558.52 1,644.20 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0.00 0.00 t
⑤自ら熱回収を行った量	0.00 0.00 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0.00 0.00 t
③+⑤自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.00 0.00 t
⑩全処理委託量	1,558.52 1,644.20 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	946.64 924.00 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1,558.52 1,644.20 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0.00 0.00 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	1,476.45 1,624.00 t

自ら中間処理した後 再生利用する量
⑧
0.00
0.00
t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分する量
⑨
0.00
0.00
t

自ら中間処理した 後の残さ
⑥
0.00
0.00
t

自ら中間処理 する量
④
0.00
0.00
t

自ら中間処理によ り減量した量
⑦
0.00
0.00
t

④のうち熱回収 を行う量
⑤
0.00
0.00
t

直接及び自ら 中間処理した後の 委託処理量
⑩
1,558.52
1,644.20
t

⑩のうち優良認定 処理業者への 処理委託量
⑪
946.64
924.00
t

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量
⑫
1,558.52
1,644.20
t

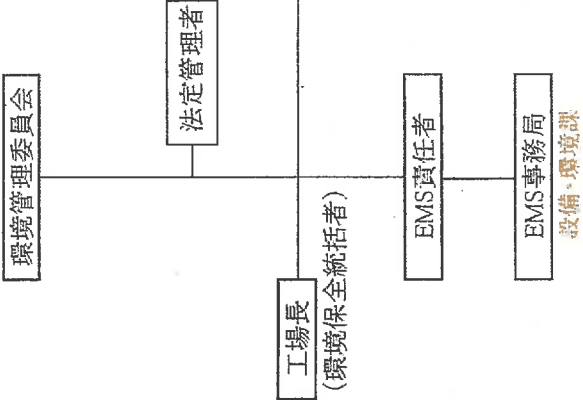
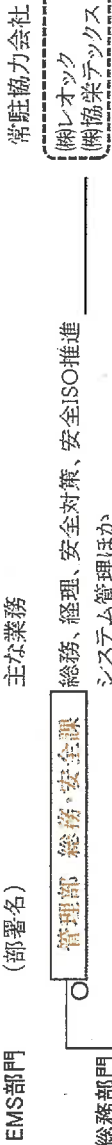
⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量
⑬
0.00
0.00
t

⑩のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
⑭
1,476.45
1,624.00
t

環境マネジメント推進体制図(2026年度 04月)
適用範囲: 医薬品原体、医薬品中間体及び、アミノ酸の製造
Scope of Activity
Manufacturing of Pharmaceutical Ingredients,
Pharmaceutical Intermediates and Amino Acids

作成 2026年04月01日
改訂 年 月 日
部署 事務局

工場長	BMS 責任者	事務局
坂本 孝	シン 也	渡 満
260401	260401	260401



また業務・安全・環境・法の推進

人員表

EMS部門等	人数
岩手工場	2
管理部門	1
総務部門 総務・安全課	12
総務部門 生産管理課	8
製造部門	107
工務部門	15
技術部門	20
品質部門 品質管理課	20
品質部門 (品質保証G)	11
工場計	196
技術・CS部(本社管轄)	1
健康支援推進室(本社管轄)	1
積水メディカル合計	198
協力会社	12
総計	210

技術・CS部(駐在)*
健康支援推進室(駐在)*
*: 医薬事業部以外の統括部、事業部

- 注
- 1、複数の課で構成されている部門長は○印の課長とする。
 - 2、総務部門は業務・安全課と生産管理課が独立して活動を行う。
 - 3、情報システム部は年度毎の一般教育を受け、工場全体の環境活動等に参加する。
 - 4、アルバイト社員、派遣社員等は配属部門の所属員とする。(常駐協力会社社員は所属部門で教育・活動等準じて行う)
 - 5、本社 技術・CS部は、環境管理を指導する立場であることと、別途報告・連絡を密にしていることから、環境教育の対象外とする。
 - 6、安全環境課は課員全員を事務局とし、連絡事項の周知・環境教育については日常のOJTで行う事とする。
 - 7、常駐以外の協力会社、供給業者、請負業者は適用範囲外とする。

産業廃棄物処理 実施状況

単位:t

		汚泥	廃アルカリ	廃プラスチック	金属	廃ガラス	廃酸	廃油	木くず	蛍光灯	水銀回収 義務製品	安定型 混合	計
排出の抑制に関する事項	前年度(令和7年度)排出実績	662.337	341.410	30.157	25.463	2.996	471.792	6.576	17.790	0.000	0.000	0.000	1558.521
	今年度(令和8年度)計画排出量	700.000	350.000	40.000	25.000	3.000	500.000	6.000	20.000	0.200	0.000	0.000	1644.200
産業廃棄物の処理の 委託に関する事項	前年度(令和7年度)全処理委託量	662.337	341.410	30.157	25.463	2.996	471.792	6.576	17.790	0.000	0.000	0.000	1558.521
	優良認定処理業者への処理委託量	71.767	341.410	29.728	4.583	2.996	471.792	6.576	17.790	0.000	0.000	0.000	946.642
	再生利用業者への処理委託量	662.337	341.410	30.157	25.463	2.996	471.792	6.576	17.790	0.000	0.000	0.000	1558.521
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外への熱回収を 行う業者への処理委託量	601.623	341.410	29.728	4.581	2.989	471.790	6.543	17.790	0.000	0.000	0.000	1476.454
	今年度(令和8年度)計画全処理委託量	700.000	350.000	40.000	25.000	3.000	500.000	6.000	20.000	0.200	0.000	0.000	1644.200
	優良認定処理業者への処理委託量	0.000	350.000	40.000	5.000	3.000	500.000	6.000	20.000	0.000	0.000	0.000	924.000
	再生利用業者への処理委託量	700.000	350.000	40.000	25.000	3.000	500.000	6.000	20.000	0.200	0.000	0.000	1644.200
	認定熱回収業者への処理委託量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
	認定熱回収業者以外への熱回収を 行う業者への処理委託量	700.000	350.000	40.000	5.000	3.000	500.000	6.000	20.000	0.000	0.000	0.000	1624.000

産業廃棄物の一連の処理の工程

廃棄物種類	名称	中間処理	最終処分
汚泥	薬品粕	焼却	再利用(土木資材)
	脱水汚泥	コンポスト化or 焼却	再利用(堆肥)
廃アルカリ	廃カーボン	焼却	再利用(セメント原料)
	アンモニア水	焼却	再利用(土木資材)
廃プラスチック	プラスチック	焼却	再利用(土木資材)
	ビニール類	破砕	再利用(燃料)
金属	金枠	焼却	再利用(土木資材)
	金属屑	圧縮、選別	再利用
廃ガラス	ガラス	破砕	再利用(土木資材)
	ガラス	焼却、ばい焼	再利用(土木資材)
廃酸	廃液	焼却、中和	再利用(土木資材)
廃油	試薬	焼却	再利用(土木資材)
	試薬	油水分離	再利用(土木資材)
木くず	パレット	破砕	再利用(燃料)
蛍光管	蛍光管	破砕	再利用(水銀回収、土木資材)
水銀改修義務付け製品	金属屑	ばい焼	再利用(水銀回収)
水銀体温計	体温計	ばい焼	再利用(水銀回収)
安定型混合	金枠	破砕	再利用

積水メディカル(株)
岩手工場

処理の流れ